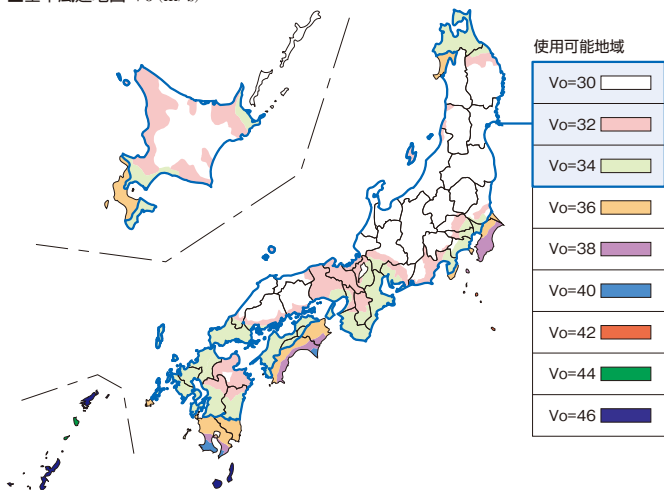


基準風速一覧表

■基準風速地図 Vo(m/s)



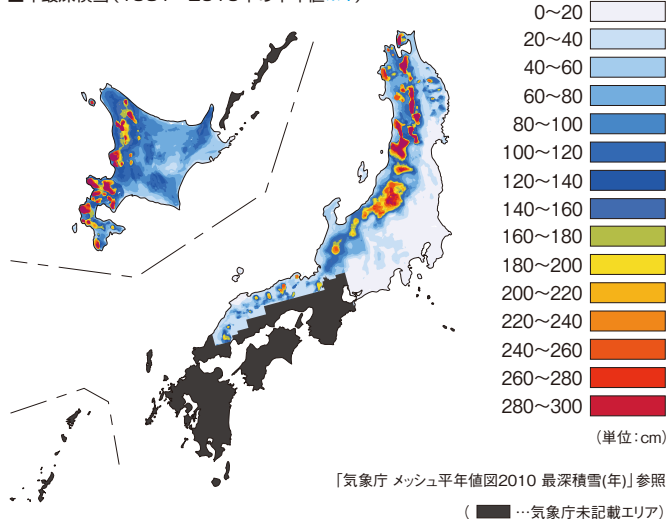
平成12年建設省告示第1454号に基づき、当社独自に色別に区分したマップです。
設置条件や設置場所により実風速がそれ以上になることがあります。

地表面粗度区分

地表面粗度区分	備考
I 都市計画区域外で極めて平坦で障害物のないものとして特定行政庁が定める区域。	沿岸地域
II 都市計画区域外で地表面粗度区分I以外の区域(高さ13m以下の場合を除く)。 都市計画区域内で地表面粗度区分IV以外の区域で海岸線・湖岸線までの距離が500m以内の地域(高さ13m以下の場合を除く)。	田園地域 (高さが13m以下は、関係なし)
III 地表面粗度区分I、IIまたはIV以外の区域。	一般地域 (建築物の多くはⅢ区域)
IV 都市計画区域内で、都市化が極めて著しいものとして特定行政庁が定める区域。	都市部

積雪量について

■年最深積雪(1981~2010年の平均値※1)



※1 気象庁では30年間の平均値を平均値としており、西暦の末尾が1となる年(…1991年、2001年、2011年…)に10年ごとに更新されています。2011年から2020年までは、1981年から2010年までの平均値が用いられています。

- カタログ表示の耐積雪量は積雪1cm当たり30N/m²・20N/m²の単位荷重で算出しています。地域・気象条件により単位荷重が異なりますのでご注意ください。
- 降雪時には雪おろしが必要ですので、指定の耐積雪量を超える前に雪おろしをしてください。
- 建物の屋根の雪などが落下するおそれのある場所へは設置しないでください。
- 垂直積雪量については、各自治体にご確認ください。

強度一覧表

耐積雪荷重	耐積雪量(雪おろしの目安)		基準風速(Vo)	商品名	地表面粗度区分
	単位荷重(積雪1cm当たり)				
	30N/m ² の場合	20N/m ² の場合			
600N/m ²	約20cm	約30cm	34m/s相当	レボリュースD セパードL	Ⅲ地区